

## 要 旨

### 試験委託者

環境省

### 表 題

1,3-ジメチルナフタレンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験

### 試験番号

A000473-3G

### 試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドラインNo. 211「オオミジンコ繁殖試験」(1998年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： 1,3-ジメチルナフタレン
- 2) 暴露方式： 半止水式 (毎日試験液の全量を交換)  
水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 21日間
- 5) 試験濃度 (設定値) :  
対照区, 助剤対照区, 0.0200, 0.0530, 0.140, 0.380, 1.00 mg/L  
公比：約 2.7  
助剤濃度一定：16 mg/L (ジメチルホルムアミド および HCO-60 使用)
- 6) 試験液量： 80 mL/容器
- 7) 連数： 10容器/試験区
- 8) 供試生物数：10頭/試験区 (1頭/容器)
- 9) 試験温度： 20±1℃
- 10) 照明： 16時間明/8時間暗
- 11) 分析法： 高速液体クロマトグラフィー (HPLC)

## 結 果

### 1) 試験液中の被験物質濃度

試験液の分析の結果、測定値の設定値に対する割合が、±20%を超える値があったため、結果の算出には測定値の時間加重平均値を用いた。

### 2) 21日間暴露後の結果

親ミジンコの半数致死濃度 (LC50) :	0.395 mg/L
	(95%信頼区間 : 0.283~0.615 mg/L)
50%繁殖阻害濃度 (EC50) :	0.310 mg/L
	(95%信頼区間 : 0.263~0.366 mg/L)
最大無作用濃度 (NOEC) :	0.112 mg/L
最小作用濃度 (LOEC) :	0.316 mg/L